

放送を巡る諸課題に関する検討会  
「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」 説明資料

# 衛星放送の現状と課題

---

2020年4月24日  
(一社)衛星放送協会

# 衛星放送協会とは・・・



衛星放送協会は、日本で初めてとなるCS放送事業者6社の認定に合わせ、1992年に発足したCS放送協議会を前身としています。

その後、CS放送のデジタル化による放送事業者とチャンネル数の飛躍的な増加に伴い、今日の一般社団法人 衛星放送協会に発展致しました。

現在、BS・CS放送事業者78社約97チャンネルで構成され、衛星放送の認知拡大、市場拡大、会員社のさらなる発展を図り、衛星放送の番組の質の向上及び放送倫理の高揚に努めるとともに、技術・経営などの諸問題について調査・研究を行っております。

## 主な説明内容

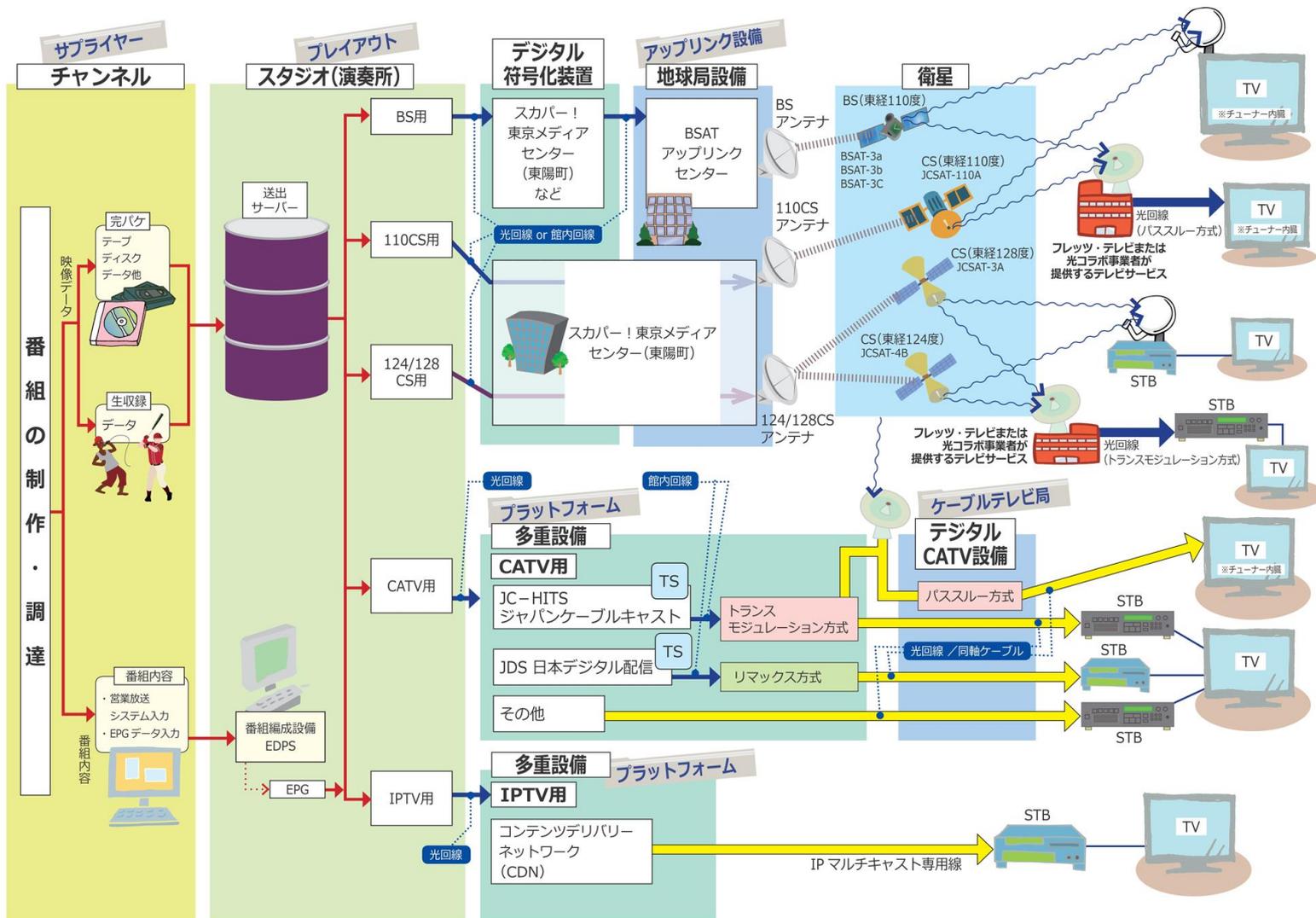
---

1. 現状の有料多チャンネルマーケット
  - 1-1. 多チャンネル放送の仕組み
2. 各マーケットの動向
  - 2-1. BS右旋新規参入事業者
  - 2-2. BS右旋帯域再編 衛星放送協会内組織
  - 2-3. BS・CS左旋利用事業者(チャンネル)
  - 2-4. BS・CS左旋視聴可能世帯状況
  - 2-5. スカパー！プレミアムサービスの状況 ①124・128度
  - 2-6. SMATV(ホテル等)
  - 2-7. スカパー！サービスの状況 ②110度(スカパー！)
  - 2-8. ケーブルテレビ
  - 2-9. インターネットへの対応
  - 2-10. コンテンツの充実～衛星放送協会オリジナル番組アワード
3. 放送と通信の相違点
  - 3-1. 放送のネット同時再送信(著作権問題等)
4. 今後の課題

# 1. 現状の有料多チャンネルマーケット

---

# 1-1. 多チャンネル放送の仕組み



出典:衛星放送協会 ケーブル委員会 多チャンネル研究所

## 2. 各マーケットの動向

---

## 2-1. BS右旋新規参入事業者

### よしもとBS放送準備株式会社

#### 「よしもとチャンネル(仮)」

- ・地方の魅力発信や地域創生、社会問題の解決(ソーシャルビジネス)につながるコンテンツの発信。
- ・国産プラットフォーム事業「ラフ&ピースマザー」で配信する教育コンテンツとの連動。
- ・2018年4月に那覇市に開校した「沖縄ラフ&ピース専門学校」の生徒や卒業生などの人材活用。

番組編成イメージ

- ・総合編成(報道・教養含む)

### 株式会社 ジャパネットメディアクリエーション

#### BS Japanet Next(仮)

世の中に埋もれた素晴らしい商品・サービス・情報を選び抜いた番組を編成し、すべての番組とスマホアプリとを連動させ、番組内で興味をもったものをその場で手軽に購入できる新しいチャンネル。

番組編成イメージ

- ・地域創成
- ・スポーツ/エンタメ
- ・ドラマ/アニメ
- ・健康・趣味・教養
- ・情報



### BS松竹東急株式会社

#### 「BS松竹東急(仮)」

松竹ブロードキャスティングは有料放送「衛星劇場」「ホームドラマチャンネル」を運営しており、CS放送で培ったノウハウを活かした番組編成、番組制作を行う。

また、東急では渋谷や新宿をはじめとしたエンタメ関連施設などがあり、それらをコンテンツ化するなど、両社の強みを活かしたチャンネルを目指す。

番組編成イメージ

- ・総合編成



サービスIDやリモコン拡張番号、EPG容量など現在調整中

## 2-3. BS・CS左旋利用事業者(チャンネル)

BS

映画



4KBS10  
ザ・シネマ 4K

(株)東北新社メディアサービス

ショッピング



4KBS11  
ショッピングチャンネル 4K

SCサテライト放送(株)

ショッピング



4KBS12  
4K QVC

(株)QVCサテライト

WOWOW

2020年12月1日  
開始予定

CS

スポーツ



CS821  
J SPORTS 1 (4K)

スポーツ



CS822  
J SPORTS 2 (4K)

スポーツ



CS823  
J SPORTS 3 (4K)

スポーツ



CS824  
J SPORTS 4 (4K)

映画



CS880  
日本映画+時代劇 4K

映画



CS881  
スターチャンネル 4K

総合エンターテイメント



CS882  
スカチャン1 4K

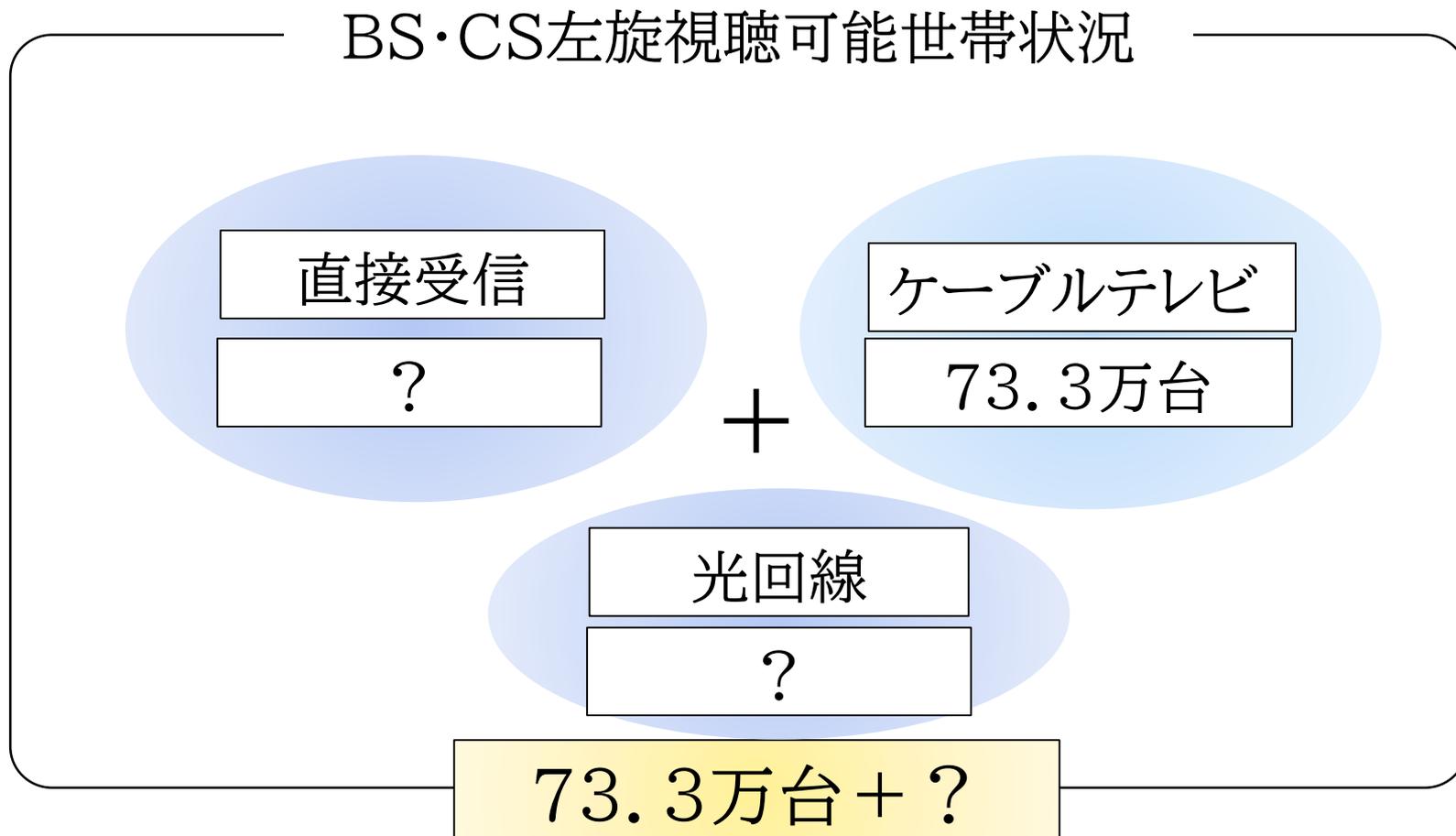
総合エンターテイメント



CS883  
スカチャン2 4K

(株)スカパー・エンターテイメント

## 2-4. BS・CS左旋視聴可能世帯状況



 2018年12月の開局以来、厳しい状況が続いている

## 2-5. スカパー！プレミアムサービスの状況 ①124・128度

### ① 加入世帯数の減少傾向

現在まで減少トレンドが継続中

各サービスの顧客数 ※ 概算

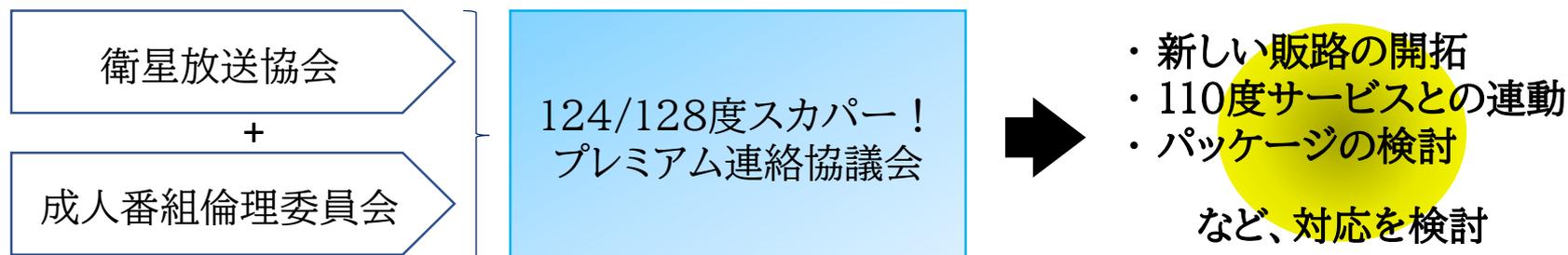
	スカパー	プレミアム	光	合計
2020年3月 現在	2,158,411	931,401	80,494	3,170,306

出典：スカパーJSAT

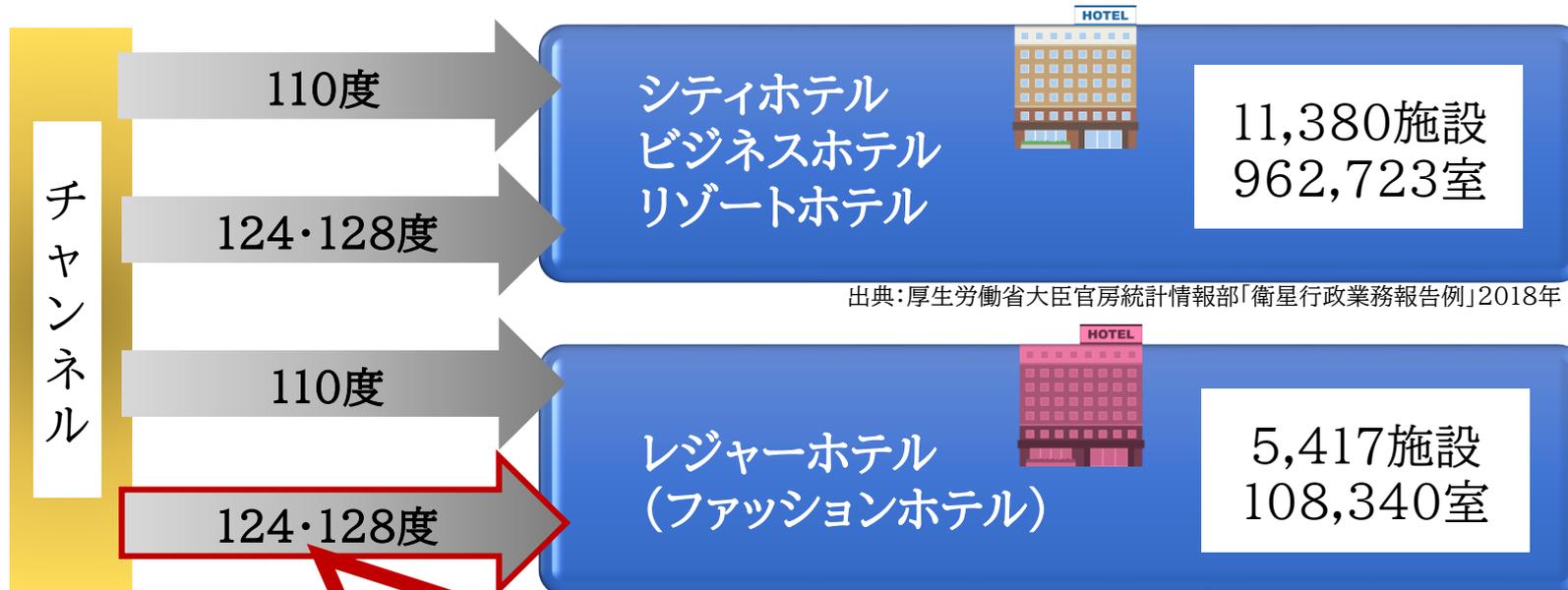
### ② 衛星基幹放送事業者ではない、スカパー！プレミアムサービスおよびプレミアムサービス光のみの事業者

約37社、70チャンネル ※ スカパーPPVは除く  
(公営競技、アダルトチャンネルが多い)

### ③ このまま減少傾向が続けば、事業運営が厳しい状態に



## 2-6. SMATV(ホテル等)



出典:厚生労働省大臣官房統計情報部「衛星行政業務報告例」2018年

出典:警察庁ホームページ「営法関連の営業所数届出数の推移」2018年



**ほとんどがスカパー124・128度を利用**

映像サービス導入 80%

有料多チャンネル導入 50%

## 2-7. スカパー！サービスの状況 ②110度(スカパー！)

### ① 加入世帯数の状況

現在まで微減トレンドが継続中

各サービスの顧客数 ※ 概算

	スカパー	プレミアム	光	合計
2020年3月 現在	2,158,411	931,401	80,494	3,170,306

出典:スカパーJSAT

### ② スカパーJSATプラットフォームの最重要マーケット



#### 普及促進の事前展開相談・事後検証

- ① スカパーより普及促進の事前説明を受け、意見交換
- ② 事後に結果をスカパーと意見交換し、今後の展開に反映

#### BSスカパーでの共同番組企画

- ① 共同企画の事前の販促対応等を議論。追加施策等を推薦。
- ② 衛星放送協会共同企画を取りまとめ、進め方を協議。
- ③ 企画終了後、両者で意見交換し、今後の展開に反映。

## 2-8. ケーブルテレビ

ケーブルテレビ接続世帯  
30,550,000世帯(492施設)

STBの設置台数 11,090,000台  
(492施設)

多チャンネル導入台数  
8,550,000世帯  
(416施設)

共同キャンペーン  
CATV+スカパー!

出典:「ケーブルテレビの現状」2019年末 総務省 情報通行政務局地域放送推進室

## 2-9. インターネットへの対応

### ① 独自展開:独自のプラットフォームを構築し、サービス展開

囲碁将棋チャンネル

囲碁ブレイク 将棋ブレイク

対局のインターネット生中継、講座・認定番組などのVOD配信や、プロが出演するイベント、会員戦などが楽しめる会員制サービス

### ② 既存プラットフォームでの展開

スカパー！オンデマンド

J:COMオンディマンド

### ③ 通信プラットフォームでの展開

dTVチャンネル



出典：dTV HP

アマゾン Prime Video チャンネル



出典:amazon HP

現状のリニアサービスではなく、  
「作品単位の供給」「VODでの展開」「別編成でのリニアサービス」  
などを提供

## 2-10. コンテンツの充実～衛星放送協会オリジナル番組アワード

有料多チャンネル市場の更なる成長には、  
他にはないオリジナルコンテンツ

「専門チャンネルならではの番組」

「物量に頼らないクリエイティブとアイデアに溢れた番組」

を増やしていく事が欠かせない



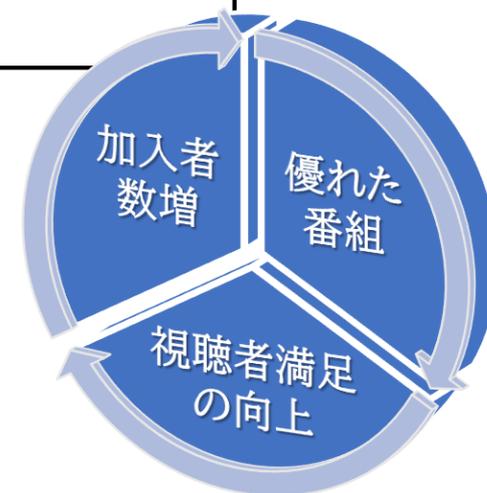
昨年(2019年)第9回の授賞式の模様

“**ここでしか見れない番組**“を見ることのできる有料多チャンネル放送が、  
視聴者にとって豊かで充実した生活の一助となり、  
それに伴い**大きく市場が発展**していく…



衛星放送協会では、  
会員社のオリジナル番組制作の取り組みによって生まれた優れた番組  
を広く知っていただくため

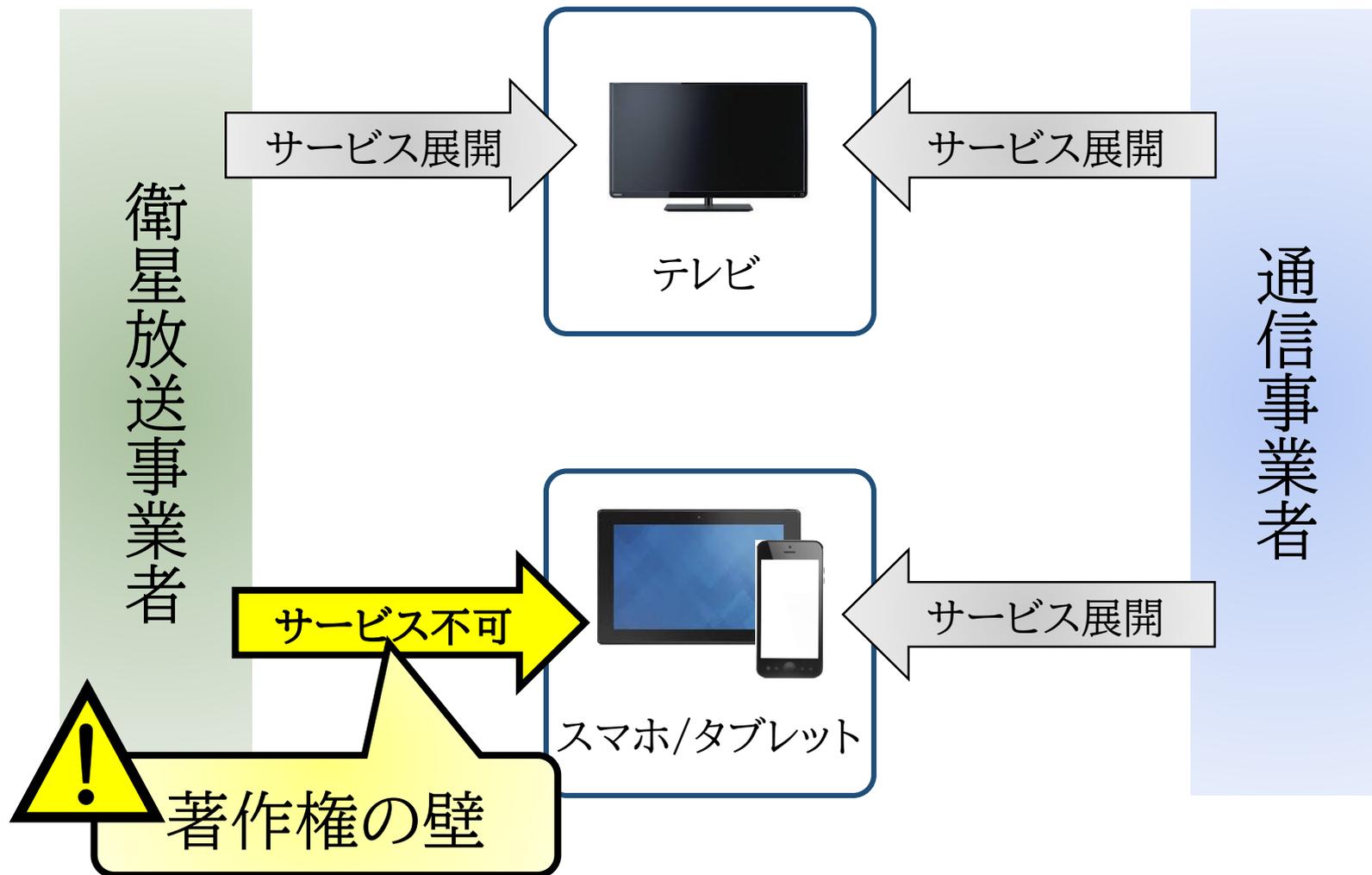
「**衛星放送協会オリジナル番組アワード**」を毎年開催



# 3. 放送と通信の相違点

---

### 3-1. 放送のネット同時再送信(著作権問題等)



## 4. 今後の課題

---

## ① BS右旋帯域の有効利用

---

- ・ BS右旋帯域再々編後の空き帯域の有効利用が必要。
- ・ 既存事業者の4K化の希望あり。
- ・ BS/CS左旋展開事業者より、右旋への移行希望あり。

## ② BS・CS左旋帯域の将来性

---

- ・ 現状のBS・CS左旋4K事業者の事業運営は難しい。  
5年間は、衛星料金が無料とは言え、衛星料金の無料が継続しても現状の打破が必要。
- ・ BS・CSとも左旋帯域は、空き帯域が多く存在。(別利用の検討)

## ③ 124度・128度サービスの将来

---

- ・ 衛星放送協会は、スカパーJSATと協力して、引き続き対応していく。
- ・ 純減傾向が止められなければ、継続が出来ない可能性も考えられる。  
単独の事業者だけでなく、110度両方でサービスを行っている事業者も多大な影響を受ける。
- ・ 継続が出来なければ、SMATV等へのサービスも不可となる。

## ④ ケーブルテレビでの新STBの普及

---

- ・ 日本ケーブルテレビ連盟と連携して普及活動を行っていく。  
具体的には、「ACAS普及・CATVへの伝送の将来像に関する勉強会」を立ち上げ、さまざまな課題(C-CAS・STB・導入コストなど経営に起因するもの、魅力的なコンテンツ不足など)について議論を始めている。
- ・ 新STBの普及は、視聴者にとってもサービス向上につながり有益であり、我々事業者にとっても4K左旋の普及につながる重要なファクトである。

## ⑤ インターネットでの更なる展開

---

- ・ 同時再送信での展開。(著作権問題)
- ・ 放送と連動したネットサービスの展開。

## ⑥ コンテンツへの投資

---

- ・ 我々が最も重要なのは、視聴者に優良なコンテンツを届けることである。放送事業者は、引き続きコンテンツへの積極的な投資が必要である。
- ・ 投資を行うためには、更なる固定費の削減が必要になる。

ご清聴ありがとうございました

